

〈生活科〉 1年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・ほとんどの児童が活動や観察を通して、感じたことや考えたことを絵や文章で表現しようとしていた。
- ・自然の中で遊んだ経験は、個人差が大きい。生活科の学習や校外生活などで季節の変化を感じ取っている。

〈思考・判断・表現等〉

- ・夏遊びの活動では、多くの児童が約束を守り、他クラスの友達とも仲良く関わろうとしていた。
- ・気持ちのよい挨拶や言葉遣い、学校生活・遊びのルールやマナーを守るなど、正しい行動をしている友達の姿を見ながら、生活上必要な習慣を身に付けてきている。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・先生、友達、上級生など学校の人々に、強い関心をもつ児童が多い。
- ・アサガオの世話を欠かさずに続け、成長にともない変化していく様子を楽しみにしながら、親しみをもって関わる姿が見られた。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・植物や生き物を詳しく観察し、表現する力を付けていくこと。
- ・人や社会及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して、どのように取り組んでいけばいいのか児童一人一人に考えさせ、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせること。

〈思考・判断・表現等〉

- ・「自然を大切にしよう」「自分たちの遊びや生活を工夫しよう」など、体験したことから自分自身や日常生活に役立てるようにすること。
- ・身近な人々や自然に関する気付きをもつこと、それらを通して自分自身の成長に気付いたり自分の可能性に気付いたりし、生活することへの意欲や自信をもたせること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・身近な人々や自然・社会との関わりに関心をもたせ、主体的に活動できるようにさせること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・児童の実態に即した活動を実現し、学習対象にじっくり関わることができるようになる。
- ・試行錯誤を繰り返す活動を設定し、活動の時間を確保することで、注意深く観察したり、考えたり、意見を交流したりすることができるようにする。

〈思考・判断・表現等〉

- ・多くの手順を必要としたり、一つ一つの指示がなければできないような活動をしたりすることを避け、主体的な活動、思考、表現ができるようにする。
- ・表現させる際、これまでの体験とつなげた表現、感覚を生かせるような働きかけや言葉かけを工夫する。
- ・体験したことを伝え合う場を設定し、お互いの気付きを知ることで、個々の気付きの質を高めていくようにする。
- ・昔遊びなど、友達と競い合ったり、教え合い、助け合ったりして関わり合いながら進める活動を取り入れる。
- ・一人一人の思いや願いが生かせるよう、児童が感じたことを取り上げながら授業展開をしていく。
- ・活動したことや体験したことを絵や文章(言葉)で振り返らせ、気付きを明確にする。
- ・児童の気付きを大切に、個々の気付きを全体で交流することで、活動を深めたり、広げたりする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・身近な人々と関わる活動を通して、親しみや知的好奇心・探求心を覚え、驚いたり喜んだりできる活動を繰り返し取り入れる。
- ・自分の花を大切に育てたり、自然を通じた工作をしたり、動物などの生き物と触れ合ったりしながら、身近な自然に目を向ける活動を取り入れる。
- ・お手伝いを通して家庭でできる自分の役割を考え、家族の一員としての自覚を深める。
- ・自分の成長を見つめ、2年生への希望や課題をもつ。

〈生活科〉 2年

現在の分析

〈知識・技能〉

- ・観察などの学習を通して様々なことに気付き、発言などの交流や発見が活発に行われている。
- ・野菜作りでは、生長を楽しみ、収穫を喜びながら観察をすることができた。
- ・1年生への学校案内では、上級生として自分の役割が増えたり、1年生にやさしく接することができたりした自分たちの成長に気付くことができた。

〈思考・判断・表現力〉

- ・野菜の観察の学習では、写真を撮って記録し前回の観察と比べることで、気付いたことや自分なりに考察したことをカードにまとめることができた。
- ・公園探検では、公園で見つけた公園の「すてき」を、タブレットでまとめて友達に発表できた。

〈学びに向かう力〉

- ・野菜作りを通し、興味関心をもって植物の生長の変化に気付けた。また、各家庭で自分が育てて収穫した野菜を食べる経験をした。
- ・自分の町に関心をもち、安全に気を付け、友達と協力して公園を探検したり調べたりした。

重点課題

〈知識・技能〉

- ・自分と身近な人々、社会や自然との関わりに興味をもてるように関心・意欲を継続してもつこと。

〈思考・判断・表現〉

- ・体験を通して感じたことを分かりやすく表現したり、友達の意見を聞いて自分の気付きを深めたりできるようにする。

〈学びに向かう力〉

- ・積極的に活動はしているが、自ら学ぶという主体性。
- ・学校図書館で書物を使った調べ学習やインターネットを活用して、発展させて調べたいという意欲。

授業改善策

〈知識・技能〉

- ・探検や野菜の観察などの体験学習を多く設定し、自分の気付きや、関わりを大切にする。また、調べ学習の機会を多くし、学校図書館やタブレットの活用を増やす。
- ・授業の中で小グループの話し合いを取り入れる。友だちと交流する場を多くもち、児童の興味、関心、意欲を高められるようにする。
- ・発表会等の学習の目的を設定し意欲を高めさせる。また達成感・成就感を得られるようにする。

〈思考・判断・表現力〉

- ・具体的な活動や体験について考えたり、工夫したり、調べたり、表現できるようにする。まとめでは「もっと活動を、楽しくするために…」 「もっと知りたい」など、一人一人が思いや願いを抽出し、次の単元へさらに意欲をもって取り組めるようにする。
- ・自分の考えをもてるように、さまざまな経験や体験をしたことを、学習カードにまとめ振り返る時間を確保する。
- ・小グループでの話し合いや発表会など、友だちと交流することで友達の考えのよいところに気付くようにする。

〈学びに向かう力〉

- ・活動の過程を大切にし、つぶやきや発言、思いを意図的に取り上げることによって、自分や友達の考えや気づきのよさに自ら気付いていけるようにする。
- ・公園探検で行った学習をもとに、町探検では町の「すてき」に目を向けさせ、町の人や様々な場所に親しみをもって関わったり、交流を深めたりすることで、自分の町への親しみや愛着をもてるように指導していく。
- ・「楽しかったよ2年生」では、自分の成長を支えてくれた人々から話を聞くなどの交流を通して、自分が小さかった頃を見つめ、将来への具体的な思いや願いをもてるように指導していく。
- またこれからの生活に意欲がもてるように、家庭とも連携した準備計画を行う。